

しおじ

瑞穂警察署汐路交番

名古屋市瑞穂区瑞穂通一丁目
27番3

構造／鉄骨造2階建
竣工／2023年2月
延面積／84.96㎡
内装木質化面積／7.4㎡
木材使用量／7.4㎡（腰壁）、0.0048㎡（標札）
（すべてあいち認証材）
施主／愛知県警察本部
設計・監理／株式会社安藤建築設計
施工／ユニテック株式会社



1F コミュニティルーム



1F 見張り室

木の温もりを感じる、親しみやすい交番

名古屋市博物館の敷地の一角にある交番ということから、周囲の雰囲気にも馴染むよう意識してデザインされた。特に外観のルーバーは存在感があり、おしゃれな意匠となっている。

見張り室には愛知県産木材をふんだんに使い、温かみのある内装で、親しみのある交番を演出している。





愛知県公館 エントランス

名古屋市中区三の丸3丁目2-3

竣工／2023年10月

木材使用量／2.4803㎡（あいち認証材）

木材使用面積／天井網部25.7㎡、天井球体1.2㎡
飾棚9.2㎡、花台（木部）4.9㎡

施主／愛知県 使用樹種／スギ、ヒノキ
デザイン・施工／株式会社アーティストリー



最先端の3D木材技術で来賓をお出迎え

県産木材のPRや利用促進を目的に、エントランス内部の天井や飾棚の木質化を行い、2023年10月に完成した。

モノづくりが盛んな愛知県の象徴として、最先端のモデル技術と最新の工作機械による加工を駆使して木材を有機的な曲線に削り上げ、家具職人の匠の技で組立てた。

伝統的な組み細工や格子を連想する網目状のデザインの中に、日々生み出される新たなイノベーションを天井の球体「傑作の源」として表現し、直線と曲線による柔らかなデザインは、新たな木の使い方を発信している。

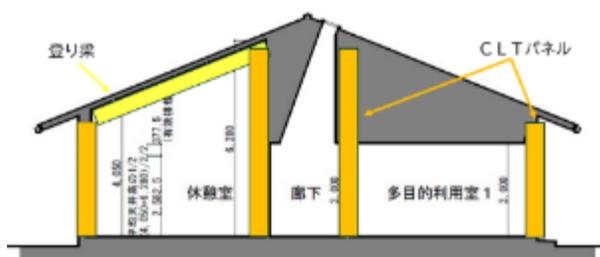


愛知県 森林公園案内所

尾張旭市大字新居5182-1

構造／木造平屋建て 延床面積／327.25㎡
竣工／2019年3月
木材使用量／121㎡
(うち あいち認証材118㎡)

施主／愛知県
設計／株式会社丹羽英二建築事務所
施工／株式会社前田工務店
2018年度次世代林業基盤づくり事業活用施設



CLTを取り入れた木造平屋建の案内所

構造材や仕上げ材にあいち認証材を、屋根に三州瓦を用いるなど、愛知県内で生産される建築材料を積極的に取り入れ、森林公園に相応しく環境に配慮している。

県内の公共建築物で初めて、木質系材料の新技术であるCLTを構造の一部に利用し、120mm角の木材を5本束ねた重ね梁を登り梁として採用し、広々とした空間を構成するなど、木造建築の新しいあり方を提案している。

ほぼ無節のラミナを使用したCLT壁を現しで利用することで、構造材がそのまま仕上げ材となるデザインとしている。





愛知県森林公園 こどもの家

尾張旭市大字新居5182-1

構造／RC造 地上1階
 延床面積／538.57㎡
 竣工／2024年3月
 木材使用量／14.57㎡
 (うち、あいち認証材14.57㎡)
 使用樹種／スギ、ヒノキ
 施主／愛知県
 設計／有限会社藤吉建築設計事務所
 施工／松本建設株式会社

全エリアにあいち認証材を採用し、
どの場所でも木の質感や温もりを
感じながら遊べる空間を構成

施設中央には板張りによる階段状の段差（写真上）をつくり、イベント等で利用可能な空間を設けた。

また別のエリアでは、壁一面を板張りにするとともに、こどもが入ることができるくぼみ（写真下左）をつくり、木に囲まれた雰囲気を感じられる空間となっている。

乳児も安心して遊べるよう新設した乳児専用エリア（写真下右）の床は、無垢杉を使用しており、サラリとした質感で優しい肌触りとなっている。

幅広い世代において、あいち認証材の質感や温もりを感じることができる快適な施設となっている。



愛知県立芸術大学 音楽学部校舎

長久手市岩作字三ヶ峯1-114

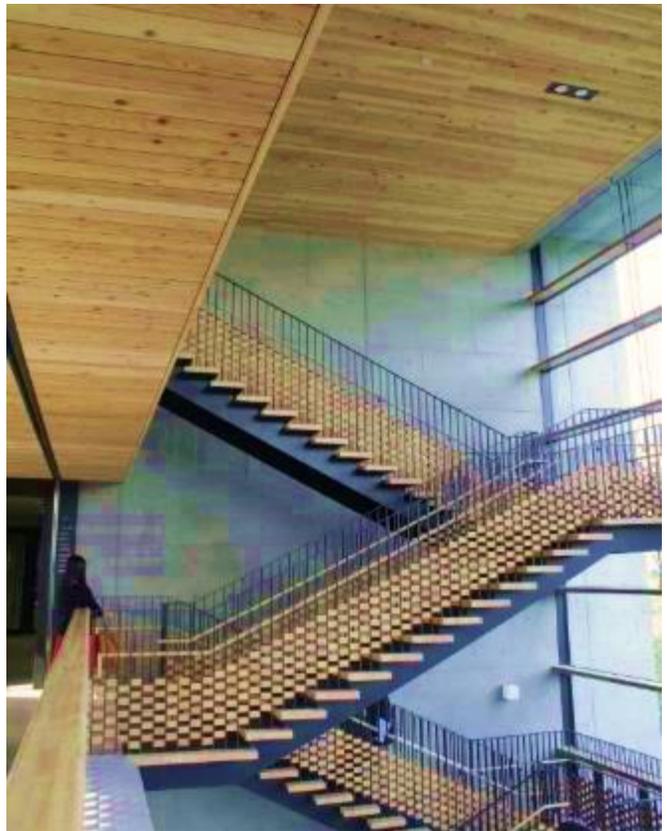
構造／鉄筋コンクリート造 3階建て
延床面積／5,890㎡
木材使用量／63㎡
(うち 県産木材使用量 30㎡)

施主／愛知県
設計／株式会社日建設計
施工／清水・名工・松原特定建設工事共同企業体
竣工／2013年6月
受賞歴／2015年度(第30回)日本建築学会
東海賞
第22回愛知まちなみ建築賞

自然とのつながりを意識した校舎

芸術大学の音楽教育にふさわしい環境を兼ね備えながらも、自然豊かな景観に配慮した建物となっている。

内装木質化により、建物内部から外部まで自然との調和が生まれている。





▲交流棟外観

愛知県立芸術大学 彫刻専攻棟

長久手市岩作三ヶ峯1-114

構造／ [交流棟] RC造一部木造2階建て
 [北アトリエ棟 (学部生用)] RC造一部木造平屋建て
 [南アトリエ棟 (院生用)] RC造一部木造平屋建て
 [三工房棟 (金・土・木)] RC造一部S造平屋建て
 [石工房棟] RC造一部S造平屋建て
 [更衣室・トイレ] RC造平屋建て
 [資材庫] RC造平屋建て

※彫刻専攻棟は上記7棟の総称

延床面積／1,570㎡ 竣工／2023年12月

木材使用量／188.34㎡
 (うち あいち認証材58.89㎡)

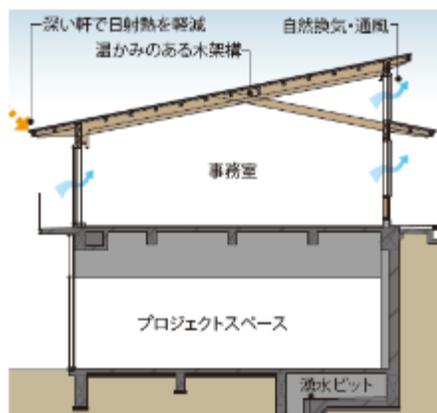
施主／愛知県

設計／株式会社安井建築設計事務所

施工／建築工事：株式会社高柳組 (第一工区)
 大数建設株式会社 (第二工区)



▲交流棟内観



▲交流棟構造

木材を使用したリラックス空間 により交流が弾み、学生のイマジ ネーションが膨らむことを期待

新彫刻棟エリア「彫刻専攻棟」の中心にある三工房（金・土・木の各素材に対応）を、学部生・院生それぞれのアトリエで取り囲み、あらゆる創作活動が屋内外を問わずエリア全体で展開される配置となっている。

既存キャンパスとの交流が生まれるようエリアの東側に温かみのある木材を用いた彫刻交流棟を配置し、訪れる人をやさしく迎え入れる計画となっている。



津島警察署

津島市西柳原町2丁目8

構造／鉄筋コンクリート造
地下1階・地上4階建て

延床面積／6,524.48㎡

竣工／2022年6月

あいち認証材使用箇所／標札、1階エントランスホール天井ルーバー(227㎡)、4階体育場腰壁(49.2㎡)

施主／愛知県警察本部

設計／株式会社石本建築事務所

施工／大日本土木・河村特定建設工事共同企業体

地域の安全を守る 県民が親しみやすい『みんなの庁舎』

エントランスホールや免許更新待合の天井に木材(あいち認証材)を使用し、木のあたたかさや明るさを取り入れることで、近寄りやすいイメージの警察署でも、県民に親しみやすさを感じてもらえるような施設となっている。





愛知県国際展示場

アイチ スカイ エキスポ

「Aichi Sky Expo」

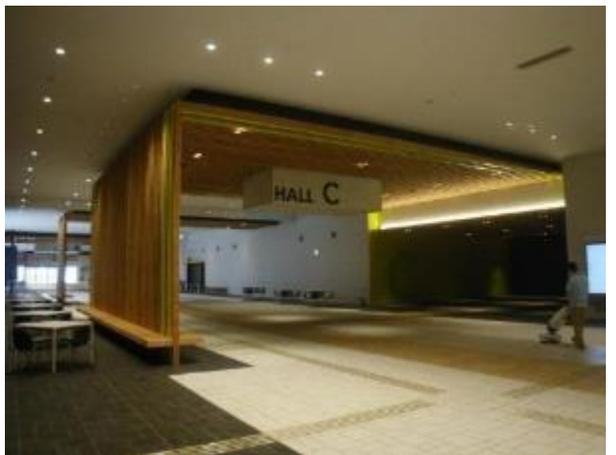
常滑市セントレア5-10-1

構造／鉄骨造2階建て 延床面積／90,415㎡
木材使用量／243.5㎡
(うち、あいち認証材スギ材243.5㎡)

竣工／2019年6月 施主／愛知県
設計・施工／株式会社竹中工務店
工事監理／株式会社日本設計
運営／愛知国際会議展示場株式会社
(特別目的会社)

中部国際空港直結の エキシビジョンセンター

日本初の空港直結型の展示場かつ、日本唯一の常設保税展示場。エントランス・モール空間のインテリアデザインにあいち認証材を使用。原木換算で591㎡相当で、豊田市産、新城市産、岡崎市産、東栄町産の木材を使用している。新たな交流による新産業の創出や既存産業の充実を図るとともに、首都圏に並ぶ交流拠点を目指している。



あいち産業科学技術総合センター
技術支援部

瀬戸窯業試験場

豊田市八草町秋合1267-1



構造／木造平屋建て3棟
延床面積／452㎡※ 竣工／2024年5月
木材使用量／146㎡※
(うち あいち認証材41㎡※)

施主／愛知県
設計・監理／都市企画株式会社
施工／野々山建設株式会社（建築工事）、
新東電気工事株式会社（建設工事）
※ 3棟合計



県産木材を活用した試験場

瀬戸窯業試験場は、瀬戸市から豊田市の「知の拠点あいち」内への移転に伴い、別棟3棟（窯炉棟・材料調製棟・電磁器棟）を新たに建設し、窯炉や材料調製機などを移設した。

深い軒の大きな屋根が特徴的なデザインで、平屋ではあるが実質1.5階（軒高4m）のボリュームのある建物となっており、天井や内装は、木材のあらわしとしている。



STATION Ai

名古屋市昭和区鶴舞一丁目
2番32号

供用開始／2024年10月予定

施主／愛知県

建築面積／4,391㎡

延床面積／23,613.16㎡

階層／地上7階

木材利用量／33㎡

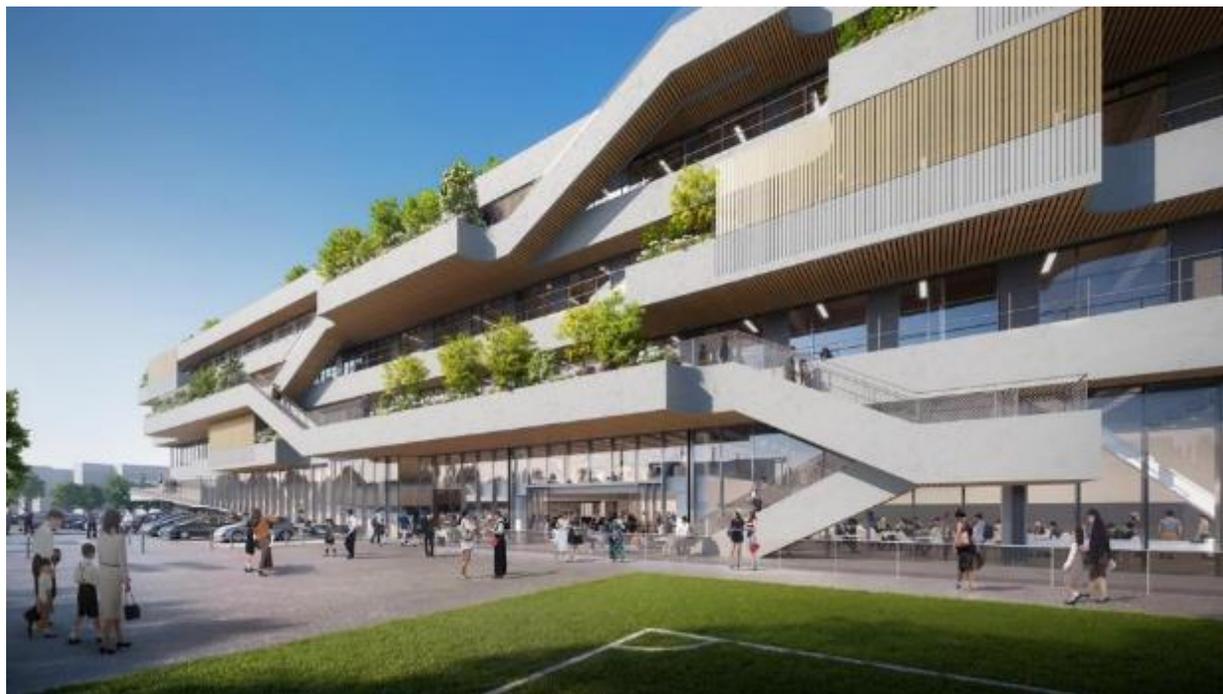
(うち 県産木材利用量28㎡)

日本最大のスタートアップ支援拠点

本拠点において、スタートアップの創出・育成・展開・誘致を図るとともに、スタートアップと当地域のモノづくり企業等とのオープンイノベーションを促進することにより、絶え間ないイノベーションの創出を目指す。

軒天や天井に県産木材を利用している。

【イメージ図】



▲外観



▲内観



愛知県新体育館

アイジー

IGアリーナ

名古屋市北区名城一丁目地内
(名城公園北園の一部)

竣工予定／2025年3月
(2025年7月オープン予定)

施主／愛知県

建築面積／約26,500㎡

延床面積／約63,000㎡

階層／地上5階

最大収容人数／17,000人(立見含む)

【イメージ図】

世界トップレベルのスマートアリーナ

国際スポーツ大会などの誘致を可能とし、かつ、現体育館が担ってきた伝統や歴史をさらに発展させていく愛知・名古屋のシンボルとなる施設を目指している。

設計には、隈研吾氏が携わり、施設デザインは、名城公園の木々と調和し、緑の一体感を創出する「樹形」のアリーナとなっている。

また、多くの来場者の利用が想定されるエリアの天井などは、県産木材の利用を計画している。



©Aichi International Arena Co.,Ltd.

画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。



豊田加茂総合庁舎

豊田市元城町4丁目45

竣工予定／2026年3月
 施主／愛知県

県庁舎初の一部木造庁舎

新総合庁舎は、県庁舎で初の木造庁舎であり、木材を積極的に利用した代表的な庁舎となる。木の空間を存分に展開したシンボリックな木造庁舎とし、県産木材のPRスペースを設けるなど、県産木材の利用促進を図る。

【イメージ図】



※ 今後の設計において変更となる可能性があります。



木造・木質化に関するお困りごとにお答えします
あいち木造・木質化サポートセンター



愛知県農林基盤局林務課による運営委託事業です。

木造・木質化でオフィス、店舗、福祉・公共施設などの建築を計画されている、建築主や建築業者の方へ

木造にひかれるけど、どこに頼んだらよいか分からない、
県産木材を使いたいけど調達方法がわからない、などのお悩みは
ありませんか？経験豊富な専門家がお応えします。

相談無料、お気軽にご連絡ください。



HP <https://aichi-wood-support.org/>
TEL 052-331-9386 (平日 9:00~17:00)
FAX 052-322-3376

あいち木サポ

検索

あいちの木材利用施設事例集 2024
2024年9月発行

愛知県農林基盤局林務部林務課あいちの木活用推進室
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 052-954-6884 (直通)
FAX 052-954-6936
E-mail aichinokikatuyou@pref.aichi.lg.jp
HP <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rinmu/>

